

3. 環境保全対策(原案)に関する ご意見の募集について

■3 「環境保全対策(原案)に対するご意見の募集」の実施について



環境保全対策（原案）に関する、ご意見の募集を行い、よりよい計画としていくための、**ご意見の募集方法を決定**する。

<p>タイトル</p>	<p>四国横断自動車道 吉野川渡河部の 環境保全対策(原案)に関するご意見の募集について</p>
<p>目的</p>	<p>西日本高速道路株式会社 四国支社では、四国横断自動車道 吉野川渡河部の整備にあたって、生物の生息・生育環境の保全に向け、専門家から必要な指導、助言を得るため「四国横断自動車道 吉野川渡河部の環境保全に関する検討会」を設置し検討しております。 このたび、検討会において環境保全対策(原案)が示されました。この環境保全対策(原案)をよりよい計画にするためのご意見を募集いたします。</p>
<p>広報の方法</p>	<p>NEXCO西日本ホームページおよび記者発表</p>
<p>募集要領</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 意見募集の対象 四国横断自動車道 吉野川渡河部の環境保全対策(原案)について ○ 意見の送付方法 電子メール、郵送、FAX ○ 意見募集の期間 1月下旬頃より概ね3週間程度を予定

資料2

四国横断自動車道 吉野川渡河部の 環境保全対策(原案)に関するご意見の募集について

平成26年1月 日

西日本高速道路株式会社四国支社では、四国横断自動車道 吉野川渡河部の整備にあたって、生物の生息・生育環境の保全に向け、専門家から必要な指導、助言を得るため「四国横断自動車道 吉野川渡河部の環境保全に関する検討会」を設置し検討しております。

このたび、検討会において環境保全対策(原案)が示されました。この環境保全対策(原案)をよりよい計画にするためのご意見を募集いたします。

<募集要領>

○ 意見募集の対象

四国横断自動車道 吉野川渡河部の環境保全対策(原案)について 別紙参照

○ 意見の送付方法

下記の意見提出様式に記入の上、次のいずれかの方法で送付願います。

1. 電子メールの場合 (テキスト形式でお願いします)

メールアドレス： h_sawada_aa@w-nexco.co.jp

NEXCO西日本 四国支社 建設事業部 建設課 澤田宛

2. 郵送の場合

〒760-0065 香川県高松市朝日町4-1-3

NEXCO西日本 四国支社 建設事業部 建設課 澤田宛

3. FAXの場合

FAX番号：087-823-3636

NEXCO西日本 四国支社 建設事業部 建設課 澤田宛

○ 意見募集の期間

平成26年1月 日()～平成26年2月 日() 必着 ※3週間程度

○ 注意事項

※頂いたご意見につきましては、検討会で議論のうえ、環境保全対策への対応とあわせて公開させていただきます。なお、ご意見に対して個別の回答はいたしかねますので、あらかじめその旨ご了承ください。

※ご意見を正確に把握する必要があるため、電話によるご意見の受付は対応いたしかねますので、あらかじめその旨ご承知おき下さい。

※頂いたご意見の内容については、住所・電話番号・電子メールアドレスを除き公開される可能性がありますので、あらかじめその旨ご承知おき下さい。

【添付資料】

- ・別紙-1：吉野川渡河部の環境保全対策(原案)
- ・別紙-2：四国横断自動車道吉野川渡河部の環境保全の取組み
- ・別紙-3：意見用紙(郵送及びFAX用)

[電子メールによる意見提出様式]

※テキスト形式でお願いします。

NEXCO西日本 四国支社 建設事業部 建設課 澤田宛
四国横断自動車道 吉野川渡河部の環境保全対策(原案)に関するご意見

氏 名：

住 所：

電話番号：

所属先：

電子メールアドレス：

意 見：

【お問い合わせ先】

NEXCO西日本 四国支社 建設事業部 建設課 澤田宛 087-823-2945



四国横断自動車道 吉野川渡河部の環境保全対策(原案)

別紙-1

西日本高速道路株式会社 四国支社では、四国横断自動車道 吉野川渡河部の整備にあたって、生物の生息・生育環境の保全に向け、専門家から必要な指導、助言を得るため「四国横断自動車道 吉野川渡河部の環境保全に関する検討会」を設置し検討しております。
 このたび、検討会において**優位とされた橋梁形式と施工方法の採用**、**環境モニタリング調査の実施**が環境保全対策(原案)として示されました。この環境保全対策(原案)をよりよい計画にするためのご意見を募集いたします。

■吉野川渡河部の橋梁完成予想 (阿波しらさぎ大橋より吉野川渡河部を望む)



■環境保全対策(原案)の主な内容

対策1：環境保全に配慮した橋梁形式の採用

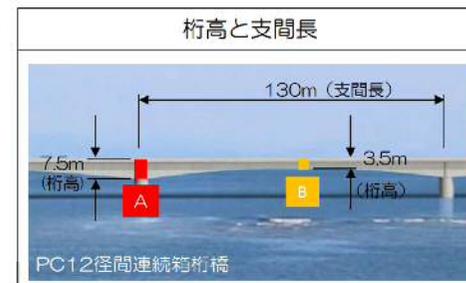
- 1-1 上部構造は渡り鳥の飛翔に配慮し、主塔、ケーブルのない桁橋を採用しました。
 - 1-2 橋梁整備では下部工施工時の浚渫と比較して、上部工架設時に台船を用いると浚渫が大規模になることから、河床浚渫が生じない架設方法による橋梁形式を採用しました。
 - 1-3 下部工(橋脚)による流況への影響が少なくなるように、橋脚数を減らしました。
- ※その他の環境保全への配慮として、ルイスハンミョウの回廊(移動経路)については、橋梁構造のため妨げになりにくく、施工時にも空間を確保するよう配慮します。

対策2：工事中の環境保全対策

- ・ 工事中は水質汚濁、騒音や振動の対策を実施します。
- ・ 浚渫土砂は、影響の少ない処理方法を検討します。

対策3：環境モニタリング調査の実施

- ・ 橋梁整備による水の汚れや騒音・振動と生物への影響を監視します。



資料2 別紙1 裏面

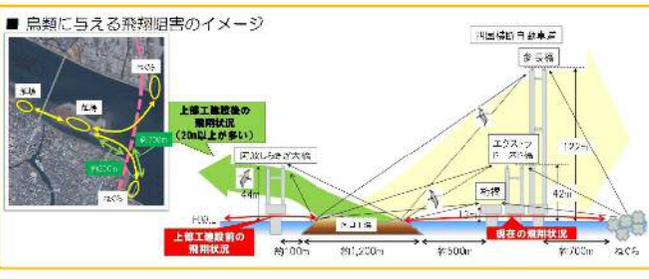
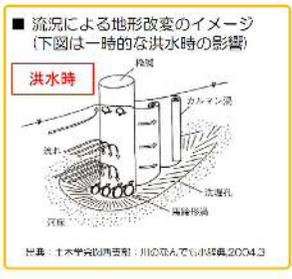
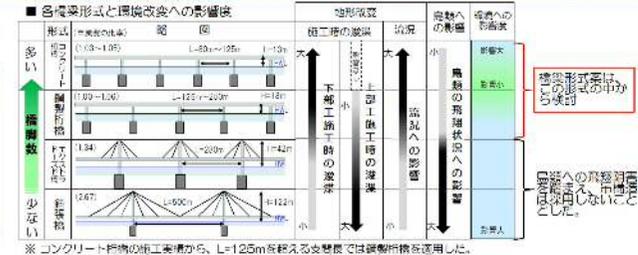
NEXCO 西日本 環境保全に配慮した橋梁形式の検討概要

※環境保全対策等の詳細につきましては、別紙-2 四国横断自動車道～吉野川渡河部の環境保全の取組み～をご参照下さい。

1. 道路構造検討方針の設定
 ⇒吉野川渡河部における各種橋梁形式と環境変化の影響度を整理し、環境保全を踏まえた橋梁形式の検討をしていくための道路構造検討方針を定めた。

■道路構造検討方針

- 1) 上部工が鳥類に与える飛翔状況への影響に関して、できるだけ主桁、ケーブルのない桁橋となる橋梁形式を優先とする。
- 2) 工事による環境への影響に関して、浚渫規模が少なく、また浚渫期間が短い施工となる橋梁形式を優先とする。
- 3) 橋脚による流況への影響に関して、地形変化量の少ない橋梁形式を優先とする。
- 4) その他、橋梁形式検討において配慮すべき事項
 - 4-1 ルイスハンミョウの回廊に配慮すること。
 - 4-2 工事による浚渫土砂の処理方法に関すること。
 - 4-3 地形改変場所は可能であれば環境の価値を踏まえて検討すること。



2. 道路構造検討方針を踏まえた橋梁形式案とその評価
 ⇒橋梁形式案は、道路構造検討方針に基づき3案作成し、環境保全に対して最も優先第2案を採用した。

橋梁形式案	環境影響からの評価(主な3項目)			橋梁構造面からの評価	備考	
	下部工	上部工	上・下部工計			
【第1案】 一般的に経済性に優れたスパンのコンクリート桁橋 PC※118径間連続桁橋 最大変り線：90m 桁高：3.0m～5.5m	浚渫面積 4.1万m ² 浚渫量 0.7万m ³	なし	浚渫面積 4.1万m ² 浚渫量 0.7万m ³	優良面積 2.3万m ² 地盤面積 2.0万m ²	環境への飛翔経路に対する配慮 桁橋が低い桁橋を採用、施工時にも構造がよい架設方法を採用 構造面の評価点：21点	
【第2案】 施工時の浚渫を最小とするために、上部工施工時の浚渫が不要となる架設工法を採用し、その際スパンを延長したコンクリート桁橋※3 PC※112径間連続桁橋 最大変り線：130m 桁高：3.5m～7.5m ※桁設置の幅は30m～50m	浚渫面積 1.9万m ² 浚渫量 0.3万m ³	なし	浚渫面積 1.9万m ² 浚渫量 0.3万m ³	優良面積 1.7万m ² 地盤面積 1.2万m ²	環境への飛翔経路に対する配慮 同上 構造面の評価点：22点	採用
【第3案】 橋脚による流況への影響(地形改変)を最小とするために、桁橋の橋入スパンを適用した鋼桁橋 細8径間連続桁橋 最大変り線：230m 桁高：3.5m～9.0m	浚渫面積 0.9万m ² 浚渫量 0.1万m ³	【影響大】	浚渫面積 12.6万m ² 浚渫量 6.6万m ³	優良面積 1.3万m ² 地盤面積 1.4万m ²	環境への飛翔経路に対する配慮 同上 構造面の評価点：17点	

橋梁形式の評価

第2案は、最も浚渫範囲が狭く、浚渫期間も短いことから、最も優先であると評価。第3案は洪水時の一時的な河床浚渫が最も少ない案とされるが、長期的な観点では、自然の河床に対し限定的な影響を与えることを踏まえ、各3案とも優劣はないと評価。

各橋梁形式案とも、鳥類の飛翔阻害の観点から考慮し、上部工に併せて構造がよい架設方法を採用していることから優劣はないと評価。

橋梁構造面では、第1案及び第2案が高い評価※4。

＜その他、橋梁形式検討において配慮すべき事項に対する評価＞
 (4-1) ルイスハンミョウの回廊に配慮すること ⇒ 各橋梁形式は、ルイスハンミョウの回廊に対して空間を確保した計画としていることから優劣はないものと評価。
 (4-2) 工事による浚渫土砂の処理方法に関すること ⇒ 浚渫土砂を河川内処理とする場合、河川内の放散による民生生物等への影響が懸念されることから、浚渫規模が少ない第2案が最も優先との評価。
 (4-3) 地形改変場所は可能であれば環境の価値を踏まえて検討すること ⇒ 橋脚の設置は、環境の価値を踏まえ、3案とも同等とすることを確認。

※1 PC：Prestressed Concreteの略
 ※2 洪水時に沿った河床掘削の掘削量(土量)：±0.5m以上
 ※3 鋼桁橋のみでは鋼桁橋の採用が考えられるが、ライフサイクルコストを考えたコンクリート桁橋を採用した
 ※4 構造面での評価であることから、経済性、環境影響、耐久性でコンクリート桁橋が評価された。

(郵送及びFAX用)

四国横断自動車道 ～吉野川渡河部の環境保全の取組み～



四国横断自動車道 吉野川渡河部の環境保全対策(原案)に関するご意見の募集

意見提出用紙

ご意見提出者

氏名	
住所	
電話番号	
所属先	

ご意見

西日本高速道路株式会社
四 国 支 社